

伝統を引き継ぎ勝利へ

柔道部

私たちはこれまでの秋田高校柔道部の伝統を引き継ぎ、今年度もインターハイに出場し活躍することを目標に、部員一丸となり日々切磋琢磨しながら稽古に励んでいます。

新チームとなり、目標達成を目指すには、「自立した選手であること」「逆境を乗り越える強い精神力」「体力」の必要性を感じています。そのために部員同士のアドバイスや、稽古の後の一人一人の振り返りを重視しながら、個々の課題を明確にしたうえで、次の練習に生かすことを大切に行っています。そして、今何が必要かを問い、必要なトレーニングや稽古内容を自ら考え、妥協することなく実行し積み重ねることで、徐々に目標達成に必要な力が付いてきていると感じています。



日々鍛錬に励む柔道部員たち

試合ではチームの一員として、一人一人が自分の役割を自覚し、冷静に状況を把握し、的確な判断のもとに最後まで粘り強くチャンスをものにする秋田高校らしい伝統の柔道で勝利をつかみ取りにいけます。

日々、私たちが支え応援してくださる先生方をはじめ、OBや保護者の方々への感謝の気持ちを忘れずに、全県制覇・インターハイ出場を果たすため、一生懸命頑張りたいです。

〔3年 筒井 惇裕〕

「科学の甲子園」でも活躍

物理部

物理部には6人が所属し、和気あいあいとした雰囲気の中で活動しています。普段は木工・電気工作や自然科学の学習を通して物理への理解を深め合う活動を行っています。



物理実験室でのんびりと活動中

物理部としての大きな行事は主に2つあり、その1つが秋高祭です。物理部では秋高祭でピタゴラススイッチなどの作品を制作し展示しています。特にピタゴラススイッチの制作は細かい調整が必要で非常に大変ですが、それゆえに完成させたときは達成感があり、秋高祭に来てくださった方や生徒の皆さんに喜んでもらえるとうれしい気持ちになります。

もう1つの行事は「科学の甲子園」です。物理部では自然科学全体に対する知識を深め、より親しめるように、科学の甲子園などの各種大会にも出場しています。昨年度は物理部チームが科学の甲子園秋田県予選で準優勝を果たしました。現在は来る物理チャレンジで奮闘できるように勉強に励んでいます。

物理部の伝統を引き継いでくださった先輩方や物理部として活動できるこの環境に感謝しつつ、物理の楽しさをよりたくさんの人と共有できるよう、部員一同努めていきたいと思っています。

〔3年 林崎 由〕

事務局通信

春爛漫、うぐいす坂の桜は今年も満開となりました。平成30年度も同窓会は活発な活動を展開してきました。9月には会員名簿第41号を発行、企画委員会では教育振興基金の充実を図るため、マフラータオルの頒布に注力、さらに郷土創生特別委員会「学食復活プロジェクト」では、皆さんからの多大なご支援により、ついにこの4月から学食を復活させました。

皆さん、ぜひ食べにいらしてください。
(相)

編集後記

今号のハイライトは、何といても10年ぶりに復活した学食である。これで表紙を飾りたい。2ページにも特集記事を載せたい。そして復活まで頑張った諸氏の熱い思いを伝えたい。そんなこんなで4月15日を迎えた▼実は、もう原稿締め切りギリギリの段階でも待った甲斐があった。昼時にどっと押し寄せ、温かい食事をガツガツ食べる後輩たち。胸が熱くなった。(風来坊)